

令和6年（2024年）6月定例会・一般質問

【A i c h i S k y E x p oで開かれる音楽フェスを本市の成長へ】

◆大川秀徳

A i c h i S k y E x p oでは、音楽フェスが行われており、それに関わる大勢の人が本市を訪れます。

この好機を本市のさらなる成長へつなげるための取組について、以下2点をお伺いします。

1つ目、A i c h i S k y E x p oで開催される音楽フェスへの関わり方の現状はどうか。また、現状の関わり方をどう評価しておりますか。

2つ目、現状よりも1歩2歩踏み込んだ関わり方により、本市のさらなる成長へつなげてもらいたい、どうか。

◎経済部長

音楽フェスは、複数のアーティストやバンドによるライブパフォーマンスを中心とした大規模な音楽イベントであり、開催地においては、観客や関係者による宿泊、飲食、交通機関の利用などを通じた経済効果、音楽フェスをきっかけとした本市の認知度向上や観光の促進、また、音楽フェスの主催者と連携することで、会場内における地域PRの実施などの効果が期待できます。

全国では、長年、同じ会場で開かれている音楽フェスも複数あり、地域と連携しながら定着が進んでいるようでございます。

さて、1点目のご質問、愛知県国際展示場で開催される音楽フェスへの関わり方とその評価についてでございますが、愛知県国際展示場では多様なイベントが開催されており、その一環として主に屋外の多目的利用地において音楽フェスが開催されています。令和6年度には、2日間で2万人以上を動員したスキマスイッチ主催の「スキマフェス」や海外アーティストも出演する「W I R E D M U S I C F E S T I V A L」などが開催されました。

本市としては、これらの音楽フェスに対して、後援や会場内への市PRブースの出展、コラボグッズ制作に向けた市内事業者の紹介、地元事業者による会場での特産品の販売、出演者・スタッフへの地元産品の提供、空港連絡通路でのPRの支援などの取組を実施してきました。

実施に当たっては主催者からの要望をお聞きし、相談しながら進めており、積極的に地域との連携を図っていただいた主催者の方々だけでなく、連携した市内事業者からも「新たなPRの機会となった」という声をお聞きしており、本市としても一定の効果があったものと評価しております。

次に、2点目のご質問、現状より踏み込んだ関わりにより、さらなる本市の成長につなげることについてお答えいたします。

本市におきましても、音楽フェスの開催は、単なる一過性のイベントにとどまらず、本市に人を呼び込み、交流を生み出す貴重な機会であると捉えております。

一方で、行政が関与できる範囲には、予算や人員の制約、さらには出演アーティストとの契約上の制限といった課題があるのも事実でございます。

そのような状況の中にあっても、さらに踏み込んだ取組により本市の成長へとつなげていくためには、例えば飲食店でのフェス来場者限定特典やアーティストによる地元産品の

P R、また、フェスと連動した関連イベントの実施などといった、市内での周遊や宿泊、体験との連携を強化していくことがさらなる経済効果につながるものと考えております。

また、こうした経済効果を持続的に生み出すためには、これまで以上に主催者と積極的に連携し、本市の魅力を感じていただく中で音楽フェスの定着を図っていくことが重要です。

今後も、音楽フェスの主催者はもとより、来場者、さらには地域の事業者に喜んでいただけるとともに、成果を実感できるよう、取組を進めてまいります。